

# Fun Fan スケート



大阪市立築港中学校  
保健体育科 第15号  
2015年 2月 27日

## 土曜授業(2/28) スケート観戦!



### ☆観戦講座に行ってきました☆

2月28日、土曜授業として、大阪プールスケートリンクで行われる「2015 ICU世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会」を観戦します。大会を観戦するにあたり2月25日（水）午後6時から現地で「観戦講座」が行われたので、校長先生と保健体育科教員3人で受講してきました。

解説は、本校にも事前指導の時に講師としてお越しいただいた日本スケート連盟スピード常任委員の 高橋一 先生でした。

### ☆勝負の決め方☆

スピードスケートは「タイムを競い合う」のに対し、ショートトラックは「全て勝ち抜き」で勝敗が決まります。また、対戦人数も複数人で、スピードスケートより選手同士の接触が激しく、ユニホームもエッジで切れない素材を使用し、頭を守るヘルメットや首を守るネックガード、目を守るゴーグルなど防具が義務付けられています。手袋も革製のしっかりしたものを使い、私たちのような毛糸や軍手の手袋は使用できないとのことでした。



ホームページも見てね！



☆ショートトラックのエッジはスピードスケートと違い、かかとがくっついている ☆両足とも8mの直径の左カーブがついている ☆エッジの先端は危なくないように丸みがついている



### ☆ルール☆

1. トラックを出ない（手は内側についてよい）
2. 他の選手の妨害をしない
3. チームで他の選手の妨害をしない
4. 危険行為をしない

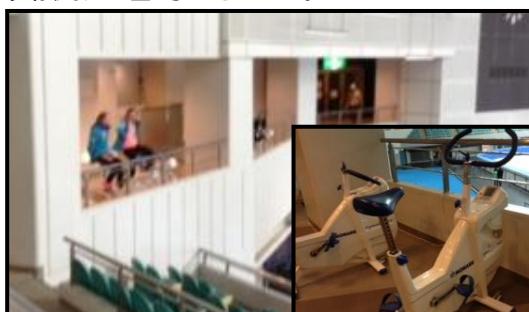
ショートトラックのスピードは、時速50~60kmと速く、写真撮影も苦労しました。

スケートの練習では、同じような脚の筋肉を使うということで自転車を使うことが多いそうです。この日も練習の終わったポーランドの選手が調整のために自転車を使っていました。

### ☆大会の裏方☆

練習後のリンクでは、ゴール判定のためのセンサーを埋め込む作業をしていたり、会場設営のための氷やリンクの作り方も

教えて頂きました。



参加国は世界33ヶ国、ジュニアの大会なので年齢は12歳~19歳とこれから有望な選手たちの大会です。中には、すでにシニア（大人）の大会にも出場し好成績を残している選手もいるとのこと。残念ながら日本の代表には大阪出身の選手はいないそうですが、大阪パワーで身近な地域の国際大会を元気に盛り上げたいものです。

